

【問い合わせ先】

共通 03-3591-6361(代)

警備救難部 救難課(乗船中の事故、海浜事故関係)

課長 補佐 堀井 (内線 5901)

03-3581-2828(夜間直通)

交通部 企画課(船舶事故関係)

主任企画調査官 今井 (内線 6202)

03-3591-5650(夜間直通)



平成22年5月6日
海上保安庁

ゴールデンウィーク安全推進活動期間の事故発生状況《速報値》 (4月29日～5月5日の7日間)

標記期間中のプレジャーボート等の船舶事故、プレジャーボート等乗船中の事故及びマリンレジャー活動に伴う海浜事故の発生状況は、以下のとおりです。

- ・「プレジャーボート等」とはプレジャーボート(モーターボート、ヨット、水上バイク等)及び遊漁船をいう。
- ・「マリンレジャー活動」とは遊泳、釣り、磯遊び、スキューバーダイビング及びサーフィン等をいう。

1 船舶事故

事故隻数 47隻(昨年比2隻増)

(別紙 資料1 参照)

【過去5年間のゴールデンウィーク期間における船舶事故の推移 単位:隻】

	18年	19年	20年	21年	22年
船舶事故	75	48	51	45	47

2 乗船中の事故及び海浜事故

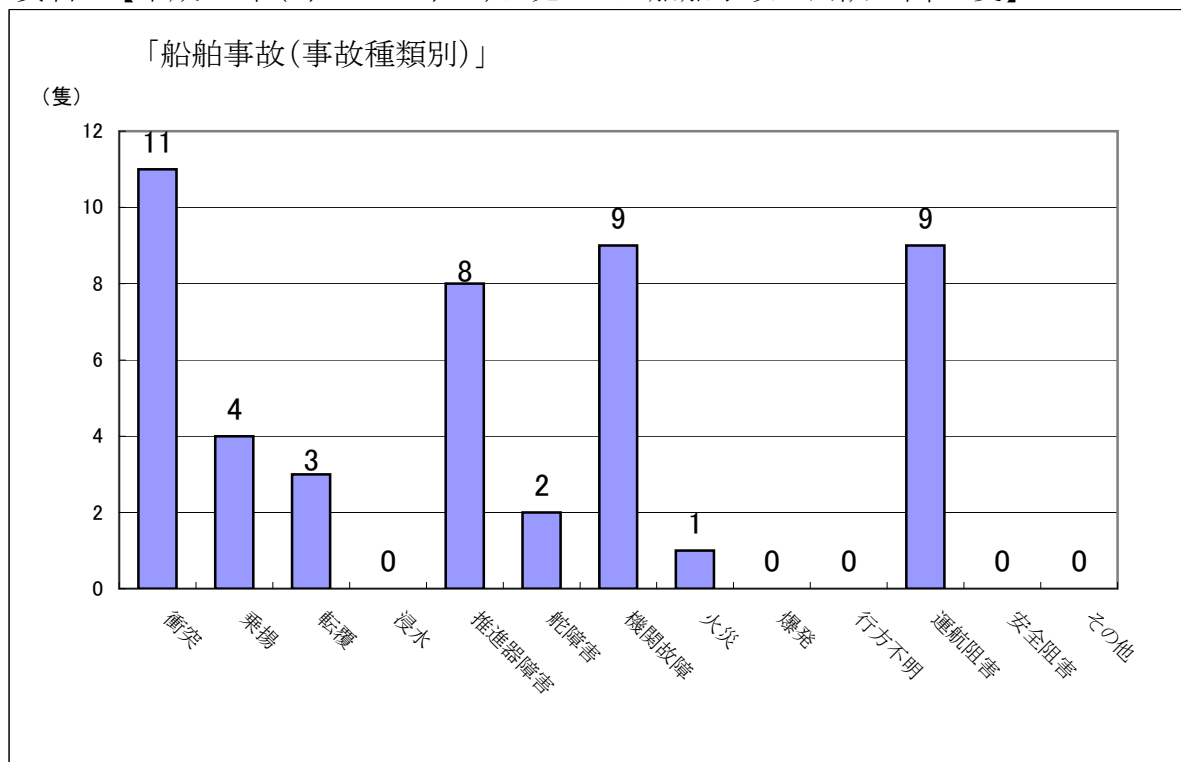
事故者数 40人 うち死者・行方不明者 **9人**(昨年比1人増)

(別紙 資料2、3 参照)

【過去5年間のゴールデンウィーク期間における死者・行方不明者の推移 単位:人】

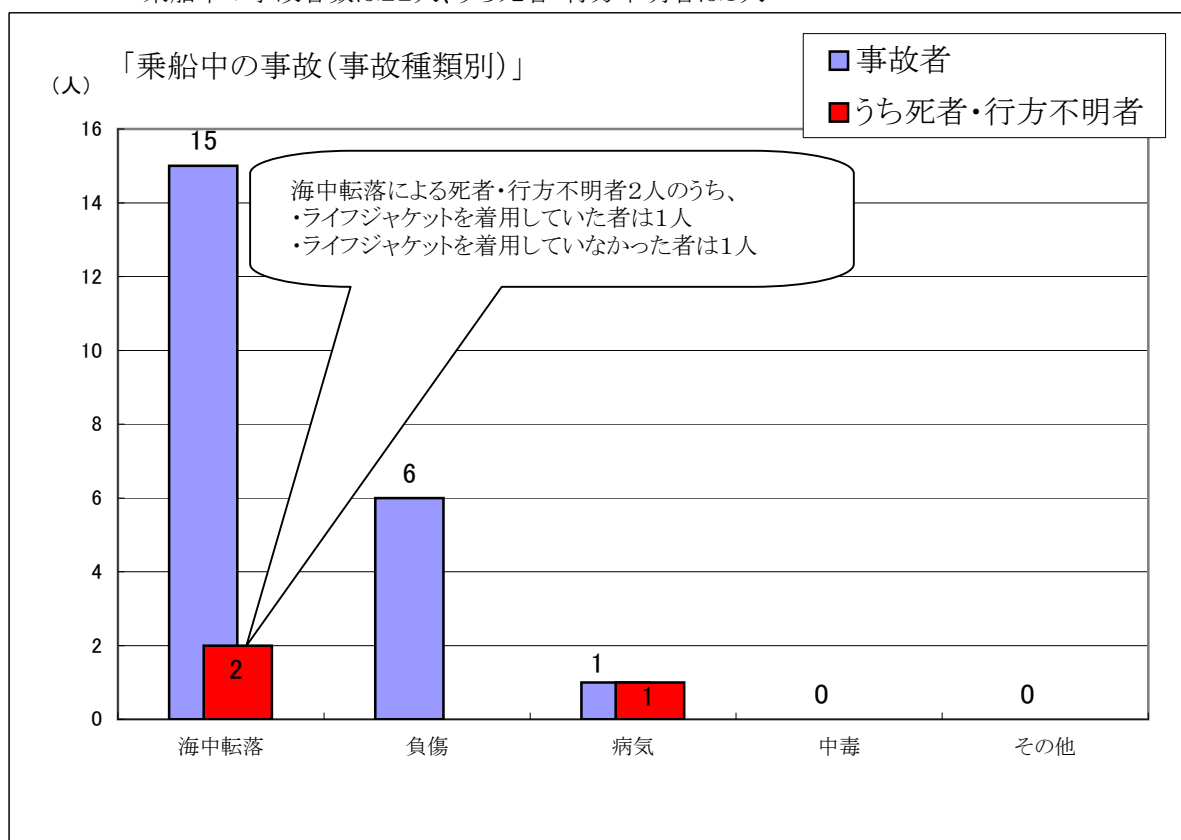
	18年	19年	20年	21年	22年
死者・行方不明者	20	9	10	8	9

資料1 【平成22年(4/29~5/5)に発生した船舶事故の内訳 単位:隻】

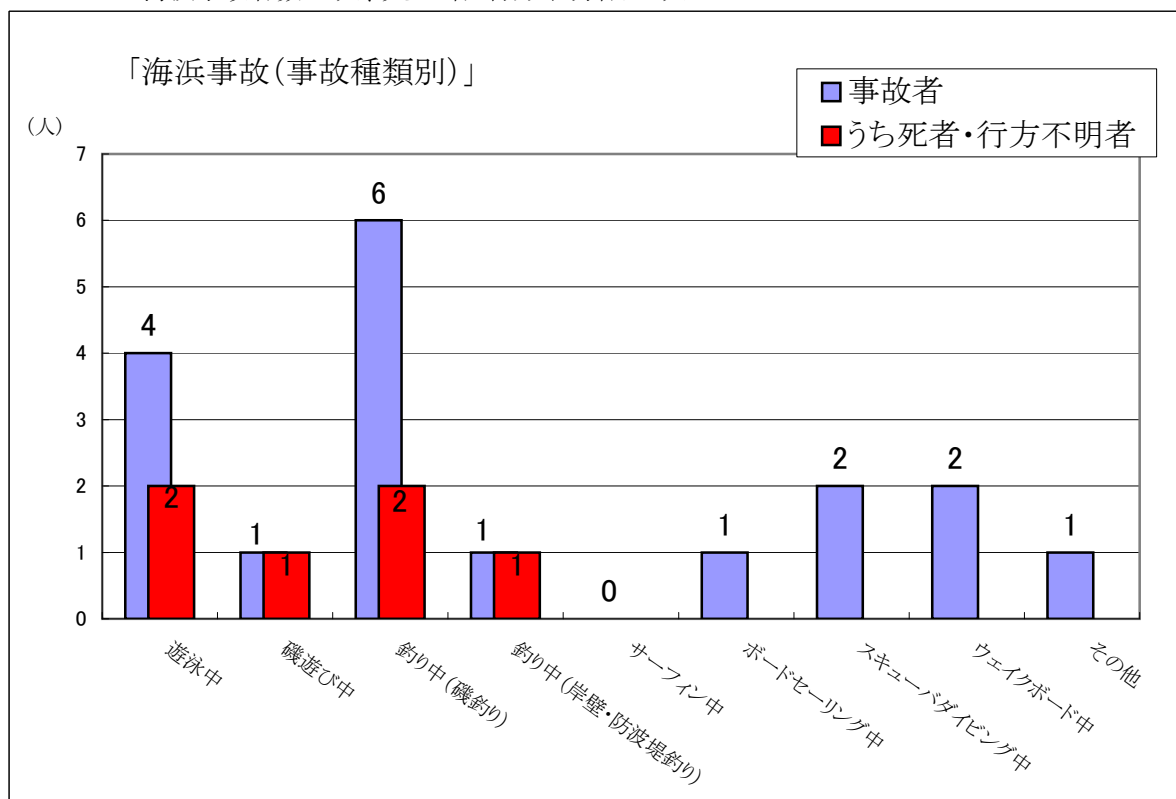


資料2 【平成22年(4/29~5/5)に発生した乗船中の事故の内訳 単位:人】

乗船中の事故者数は22人、うち死者・行方不明者は3人



資料3 【平成22年(4/29~5/5)に発生した海浜事故の内訳 単位:人】
 海浜事故者数18人、うち死者・行方不明者は6人



ゴールデンウィーク中の事故事例（香川県）

平成22年5月4日午前9時43分頃、第六管区海上保安本部（広島）は、ヨット乗船者から『大部港（小豆島）沖約1キロメートル付近で乗り上げたが、沈没しそうなので離船して海に入る』旨の118番通報を受けました。

第六管区海上保安本部は、通報者に対して『ライフジャケットの着用、携帯電話等による連絡手段の確保、乗船者の離散防止』を指導するとともに、直ちに巡視船艇・航空機を出動させました。その結果、海上保安庁航空機が漂流中の3名を発見、午前10時54分に巡視艇により全員救助しました。

今回の事故で、全員無事に救助された理由として、早い段階で海上保安庁へ118番通報したこと、ライフジャケットを着用していたこと、全員が一緒になって漂流していたことがあげられます。



（漂流中の3名に浮き輪を投げる海上保安官）